

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回発信日は2月22日(予定)

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～牛乳類・はっ酵乳は前週から減少～低調に推移する家庭内需要の底上げが重要～」

・2/5週の牛乳類の販売個数は、前週(1/29週)と比較して4品目すべてのカテゴリーで減少した。牛乳類のうち加工乳は前年同期比を上回ったものの、ほかの3品目はいずれも下回り、前週から減少率を拡大させた。大消費地の首都圏を中心に2/5週は大雪に見舞われたため、販売機会が減少して消費減退に繋がったと推察される。一方、東北地方は1/8週以降、5週連続で牛乳類の販売個数が前年を上回っており、好調な消費を維持している。

・はっ酵乳の販売個数も、全品目で減少した。前年との減少率が比較的小さい大容量タイプも減少率を拡大させ、約1カ月ぶりに前年同期比95%を下回った。

・バレンタインシーズンを迎え、家庭用バターの販売個数は前週よりも増加したが、前年同期比は減少率を拡大させた。12月以降の価格改定が徐々に進み、需要を押し下げていると考えられる。

・悪天候の影響が無くとも、家計負担が重くなる中で牛乳製品の需要は今後も低調に推移すると見込まれる。学校給食用牛乳が休止となる年度末・春休みにかけて、生乳生産は年間ピークに向かい上向く時期であり、一時的に大きな需給緩和となることも考えられる。低調な家庭内需要の底上げを図るべく、引き続き業界内外を巻き込んだ需要拡大対策が求められる。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>
 「20,040のチカラ」 <https://www.j-milk.jp/news/Power20040.html>
 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009qzb.html>

「延長決定」

「土日ミルク」啓発ツールの無償提供: 2024年3月19日(火)締切

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(2/5週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:同94.9%、成分調整牛乳:同83.9%、加工乳:同102.4%、乳飲料:同94.0%。

牛乳類トータルでは同94.1%

※参考: 2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は89.0%。

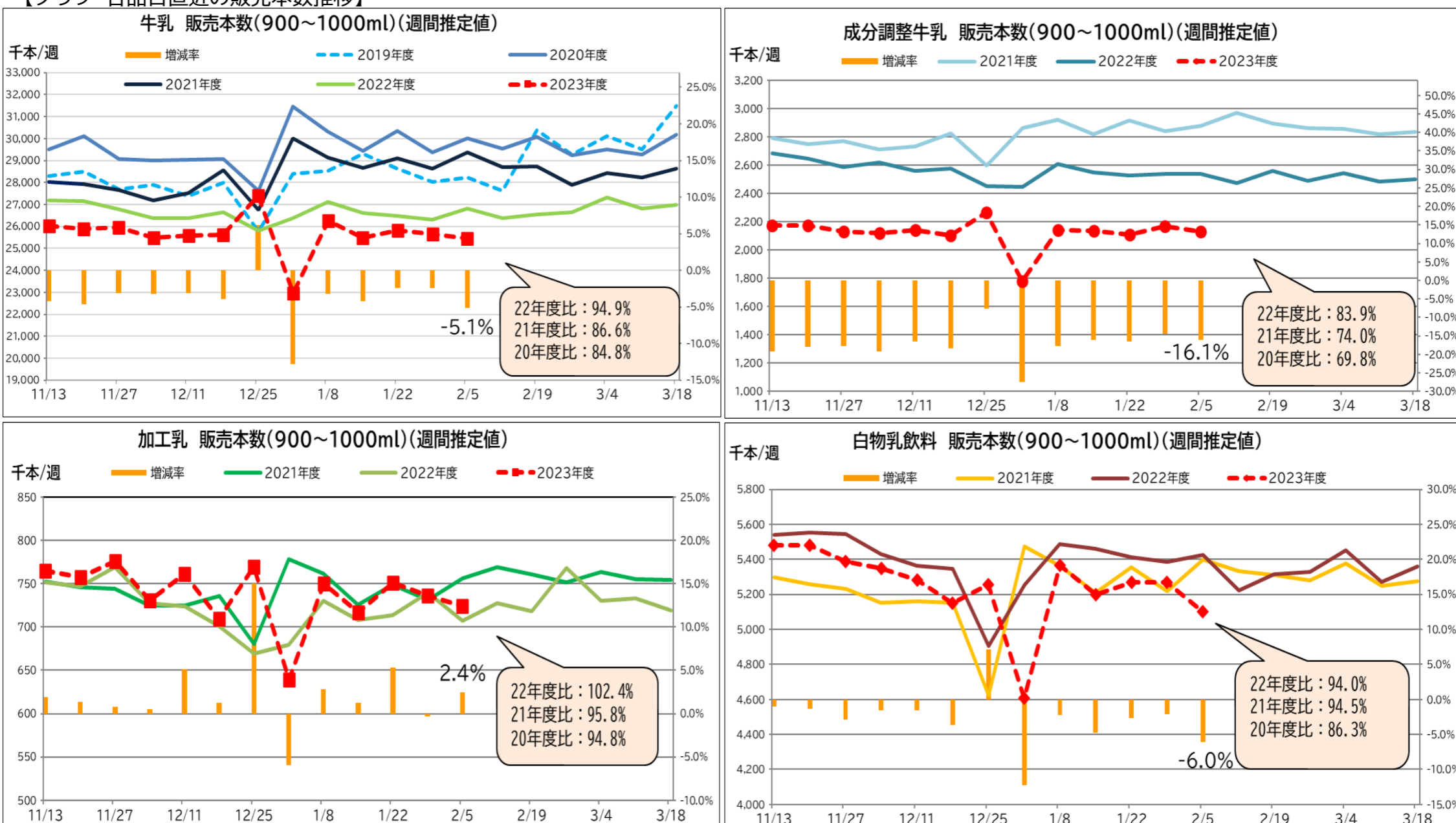
・販売単価は、牛乳:226.0円、成分調整牛乳:207.7円、加工乳:218.2円、乳飲料:174.0円。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	12.18-	12.25-	1.1-	1.8-	1.15-	1.22-	1.29-	2.5-	24.2.5- 22.10.24 価格差	24.2.5- 23.3.20 価格差	24.2.5- 23.7.24 価格差
		販売個数	販売個数前年比	販売個数	販売個数前年比	販売個数	販売個数前年比	販売個数	販売個数前年比	販売個数	販売単価	販売単価
トータル	販売個数	33,569	35,700	30,002	34,510	33,536	33,965	33,845	33,408			
	販売個数前年比	95.1	105.5	86.3	96.0	94.9	96.7	96.8	94.1	33.5	18.6	16.2
	販売単価	217.1	218.1	217.8	217.0	216.6	216.7	216.5	216.7			
牛乳	販売個数	25,603	27,408	22,976	26,253	25,481	25,836	25,666	25,450			
	販売個数前年比	96.0	106.2	87.2	96.8	95.8	97.6	97.6	94.9	35.7	19.4	18.2
	販売単価	226.3	227.0	227.3	226.3	226.1	226.1	226.1	226.0			
成分調整牛乳	販売個数	2,106	2,267	1,779	2,143	2,137	2,111	2,172	2,132			
	販売個数前年比	81.7	92.3	72.6	82.2	83.8	83.5	85.5	83.9	34.0	19.1	14.5
	販売単価	209.0	209.5	208.9	209.4	208.0	208.5	207.4	207.7			
加工乳	販売個数	709	769	639	750	717	751	736	724			
	販売個数前年比	101.2	114.9	94.0	102.8	101.3	105.3	99.6	102.4	27.3	17.0	6.4
	販売単価	220.2	221.7	219.3	219.0	218.3	217.9	219.0	218.2			
乳飲料	販売個数	5,151	5,257	4,608	5,364	5,200	5,267	5,271	5,103			
	販売個数前年比	96.3	107.2	87.7	97.7	95.2	97.3	97.8	94.0	24.3	14.5	9.8
	販売単価	174.4	175.2	173.5	173.9	173.4	173.7	173.4	174.0			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



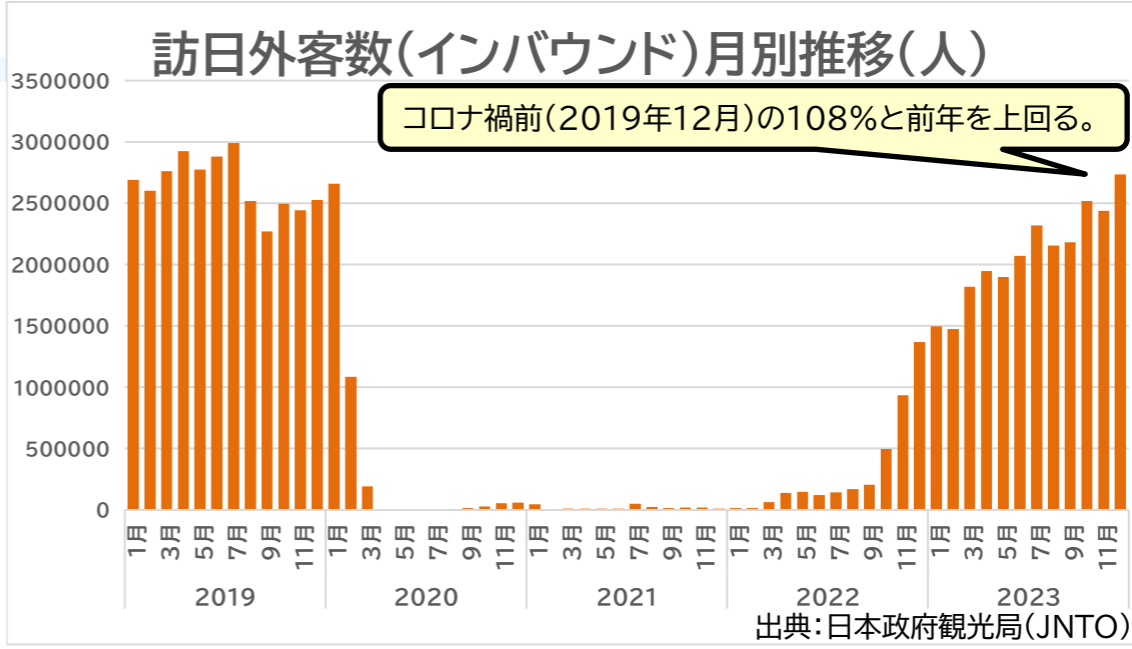
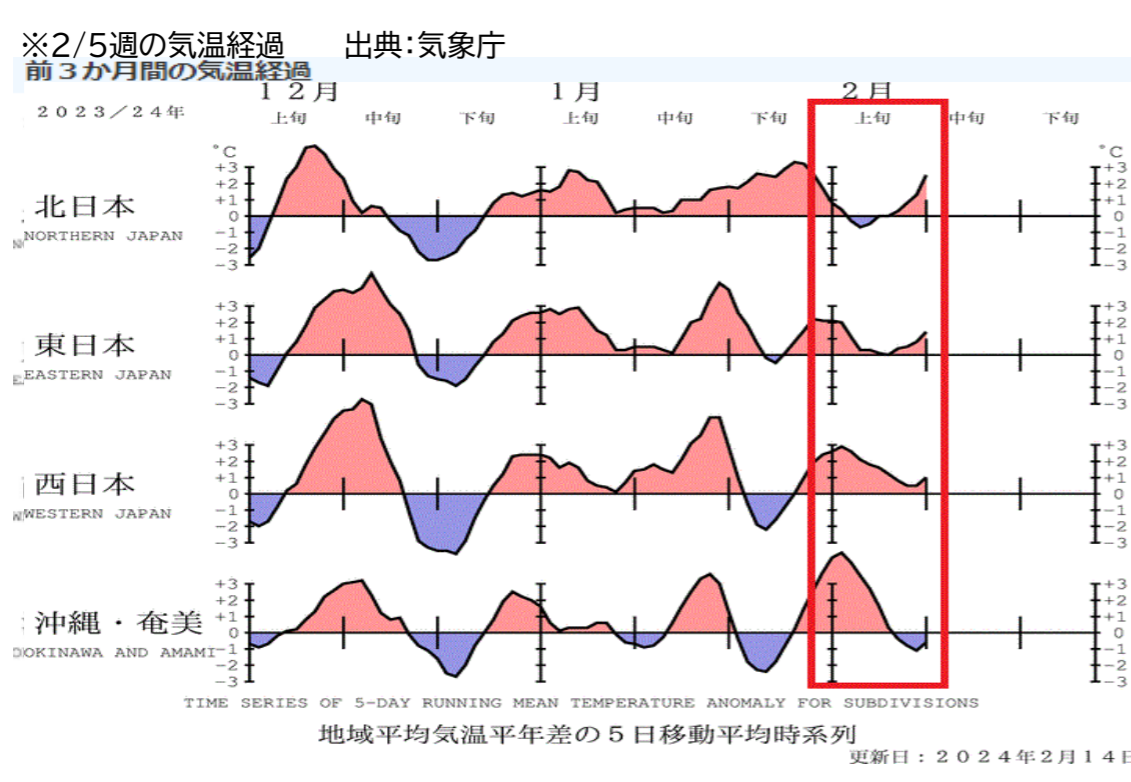
【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】
 (1)直近の動向(表②参照)
 直近(2/5週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。
 (2)販売個数について、前週(1/29週)よりも全ての品目で減少した。前年同期比では、個食タイプと大容量タイプの減少率が拡大した一方、ドリンクタイプは差が縮小した。はっ酵乳全体としても引き続き前年を下回っている。
 ※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績 (千個)

品目	12.18-12.25-	1.1-	1.8-	1.15-	1.22-	1.29-	2.5-
ドリンクタイプ	↓	↘	↓	↓	↘	↓	↘
個食タイプ	↘	→	↓	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↗	↓	↘	↘	↘	↘

- ↓ : 前年比90%未満
- ↘ : 前年比105%以上110%未満
- ↙ : 前年比90%以上100%未満
- ↗ : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
- ↑ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。



※「2023年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」